

令和6年度気仙沼市デジタル水産業推進協議会

第1回A分科会

日時： 令和7年3月3日（月）午後4時30分～
場所： 気仙沼市研修センター+オンライン

次 第

1 開 会

2 挨 捶

3 出席者紹介

4 報 告

(1) 今年度における取組事項について

(2) A-1-1：遠隔診療システムの構築の取組状況について

(3) A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築

／A-2：海洋観測データによる漁業支援システムの取組状況について

5 協 議

(1) A-1-1 に関する事業計画① 遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査

(2) A-1-1 に関する事業計画② Zoom to Zoom による気軽な医療相談の実証事業

6 そ の 他

A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築

A-2：海洋観測データによる漁業支援システム に関する取組の方向性について

7 閉 会

【配布資料】

- 1 次第（本紙）
- 2 出席者名簿
- 3 説明資料
- 4 説明資料 - 別添資料

令和6年度気仙沼市デジタル水産業推進協議会 第1回A分科会名簿

【気仙沼市デジタル水産業推進協議会D分科会員】

NO.	区分	所属	職名等	氏名	摘要
1	分科会長	勝倉漁業株式会社・ 一般社団法人宮城県北部鰯鮪漁業組合	代表取締役社長 代表理事	勝倉 宏明	
2	副分科会長	株式会社カネダイ	代表取締役社長	佐藤 俊輔	
3	学識経験者	東京海洋大学	海洋生命科学部 教授	東海 正	
4	各種団体 ・企業 (所属名順)	気仙沼漁業協同組合・ 気仙沼市デジタル水産業推進協議会	代表理事組合長・ 会長	齋藤 徹夫	
5		株式会社昆野無線	代表取締役	昆野 龍紀	
6		株式会社みらい造船	代表取締役社長	木戸浦 健歎	
7	関係 行政機関	宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部	技術副参事 兼総括技術次長	鈴木 永二	
8	気仙沼市	気仙沼市	デジタル補佐官	種子野 亮	

【オブザーバー】

NO.	区分	所属	職名等	氏名	摘要
1	作業部会	(一社) 宮城県北部鰯鮪漁業組合	専務理事	菅原 和昭	
2		宮城県北部船主協会	事務局長	吉田 鶴男	
1	外部企業	東京海上日動ファイナンス株式会社 ヘルスケア本部メディカルコール事業部営業課	営業課長	臼澤 佳奈子	
2		東京海上日動ファイナンス株式会社 ヘルスケア本部メディカルコール事業部営業課		稻垣 玲花	

【事務局】

NO.	区分	所属	職名等	氏名	
1	気仙沼市	産業部水産課	課長	齋藤 英敏	
2		産業部水産課漁業振興係	主幹兼係長	小野寺 幸史	
3		産業部水産課漁業振興係	主幹	佐藤 吉	
4	支援企業	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	主任研究員	秋元 康男	
5		三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	研究員	大崎 勇	



令和6年度気仙沼市デジタル水産業推進協議会 第1回A分科会説明資料

令和7年3月3日（月）
16：30～18：00

目次

報告1.1～1.10 今年度における取組事項

報告2.1～2.5 A-1-1：遠隔診療システムの構築の取組状況

報告3.1 A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築
／A-2：海洋観測データによる漁業支援システムの取組状況

協議1.1～1.2 A-1-1に関する事業計画① 遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査

協議2.1～2.7 A-1-1に関する事業計画② Zoom to Zoomによる気軽な医療相談の実証事業

協議1・2 事業スケジュール

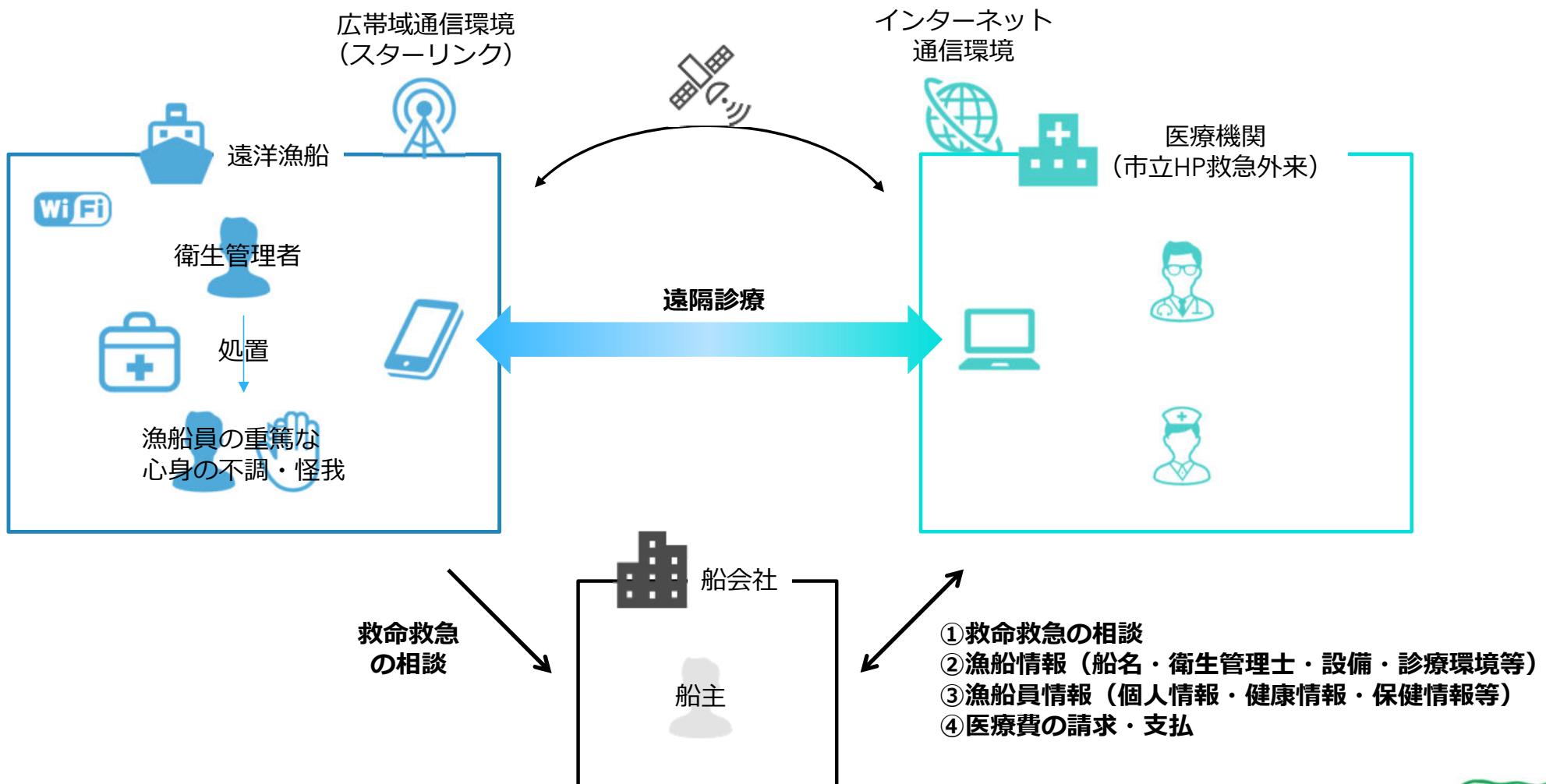
報告1.1～報告1.10

報告1 今年度における取組事項

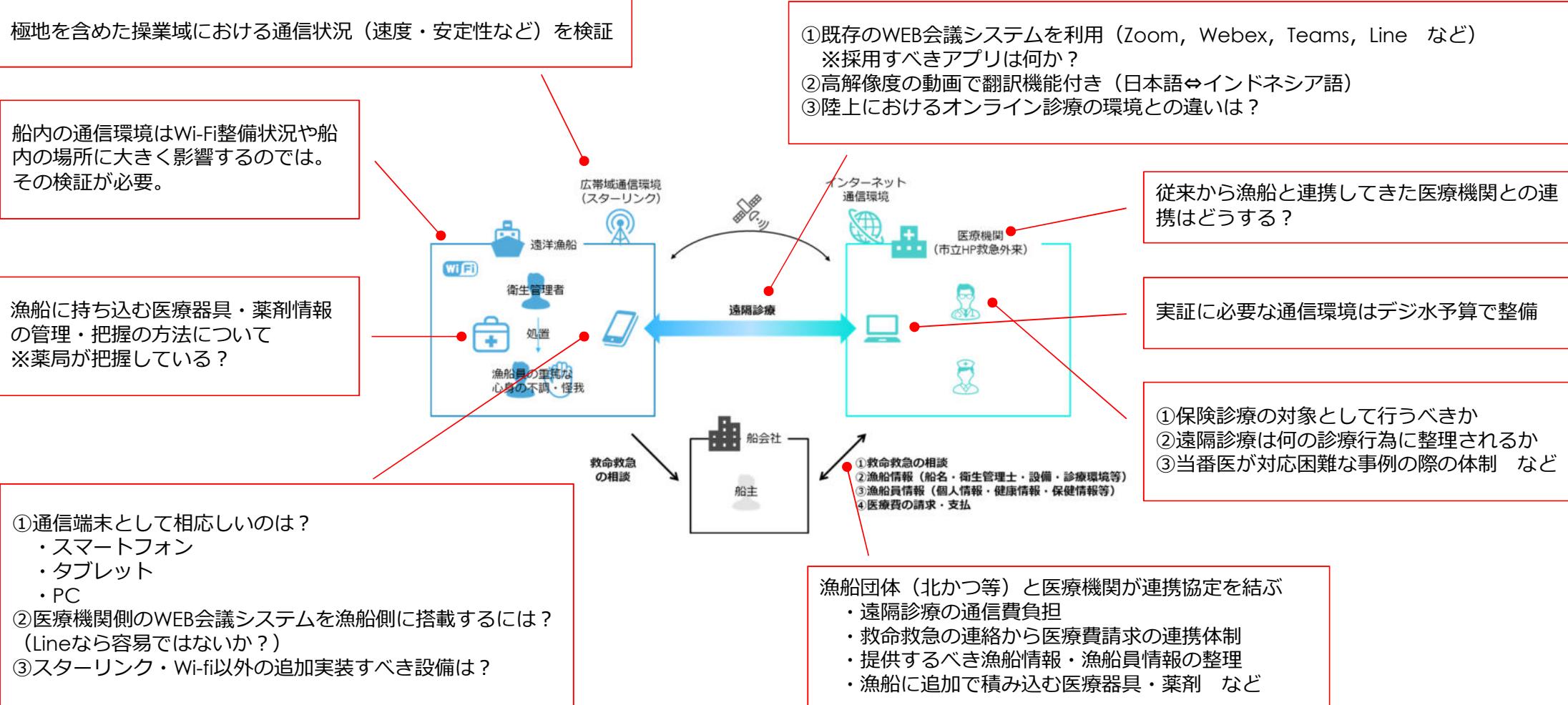
報告1.1 A-1-1：遠隔診療システムの構築（洋上デジタル支援環境①）

1. 概要
 - (1) 遠隔診療システムの構築
2. 目的・効果
 - (1) 漁船内の医療的対応力・救命力の向上
3. 遠隔診療システム案
 - (1) P1.2参照
4. 実施主体
 - (1) 利用者：漁船（船長・漁船員），船主
 - (2) 整備支援：協議会・市
5. 実現に向けた課題・備忘録
 - (1) P1.3参照
6. 整備スケジュール案
 - (1) R6年度（企画・用件定義まで）
 - ①関係者の基本合意
 - ②5に記載の情報収集
 - ③ベンダー発掘
 - ④一部の漁船を用いて実証
 - ⑤基本仕様構築
 - (2) R7以降（調達・実装）
 - ①実装フェーズへ

報告1.2 A-1-1：遠隔診療システムの構築 実現モデル



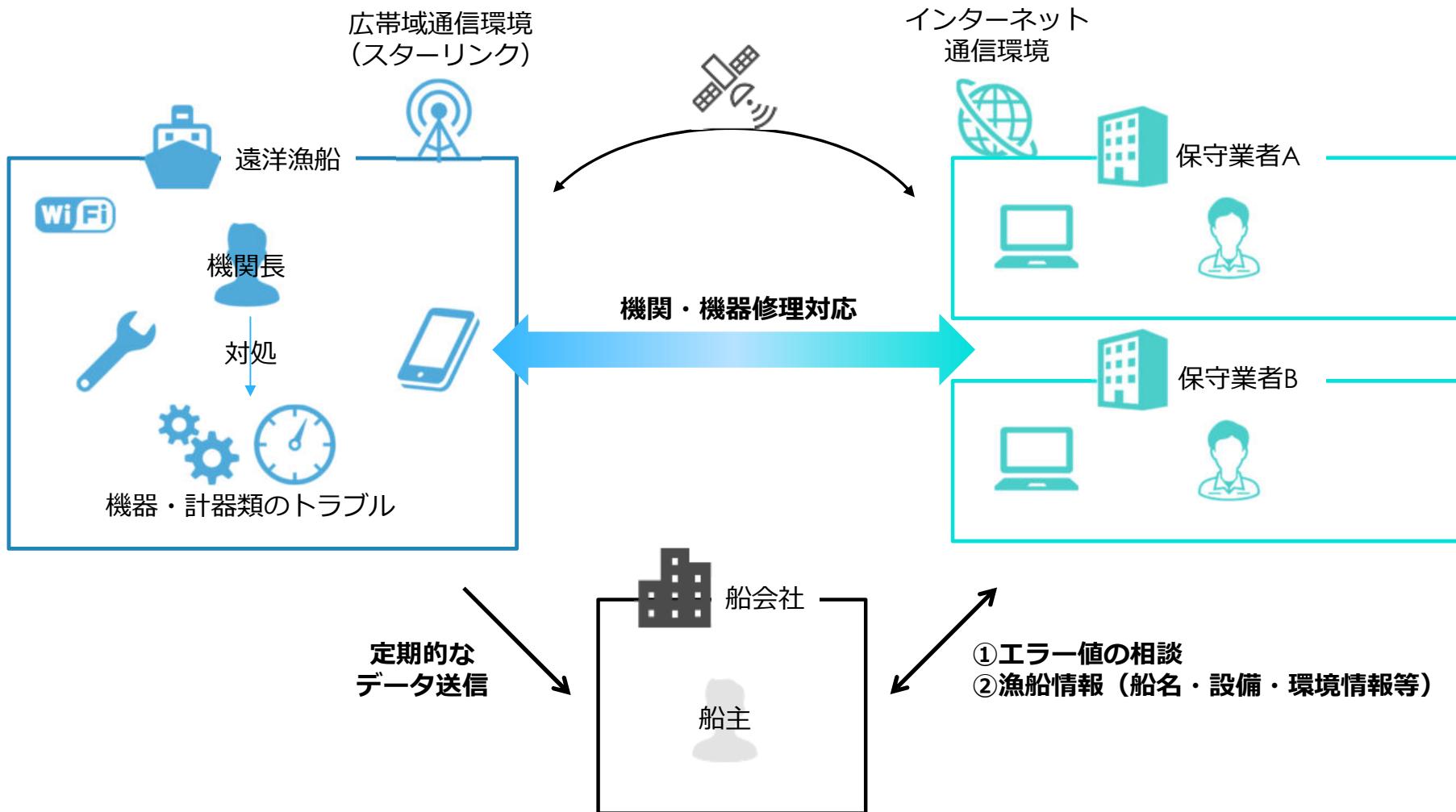
報告1.3 A-1-1：遠隔診療システムの構築 実現に向けた課題・備忘録



報告1.4 A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築（洋上デジタル支援環境②）

1. 概要
 - (1) リモートによる機関・機器の故障対応
2. 目的・効果
 - (1) 安全航海と航行の継続性の向上
3. 機関・機器の故障対応・運転管理システム
 - (1) P1.5のとおり
4. 實施主体
 - (1) 利用者：漁船（船長・漁船員），船主
 - (2) 整備支援：協議会・市
5. 実現に向けた課題・備忘録
 - (1) P1.6のとおり
6. 整備スケジュール案
 - (1) R6年度（企画・用件定義まで）
 - ①関係者の基本合意
 - ②5に記載の情報収集
 - (2) R7以降（調達・実装）
 - ①一部の漁船を用いて実証
 - ②基本仕様構築
 - ③実装フェーズへ

報告1.5 A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築 実現モデル



報告1.6 A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築 実現に向けた課題・備忘録

極地を含めた操業域における通信状況（速度・安定性など）を検証

船内の通信環境はWi-Fi整備状況や船内の場所に大きく影響するのでは。
機関部における通信環境を検証

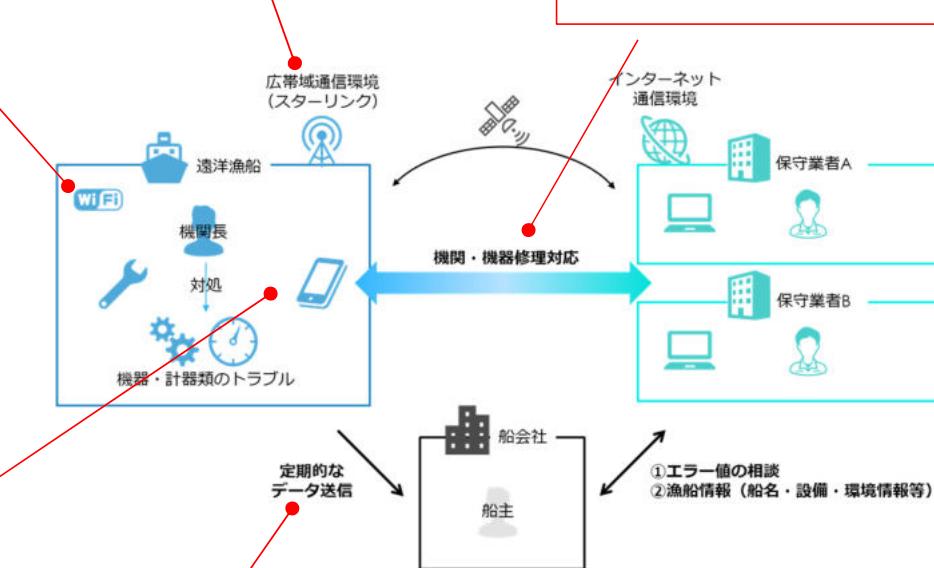
- ①既存のWEB会議システムを利用（LINE）を利用
- ②高解像度の動画で翻訳機能付き（日本語↔インドネシア語）
- ③騒音下における会話のフォロー（骨伝導？字幕？）

①通信端末として相応しいのは？

- ・スマートフォン
- ・タブレット
- ・PC

②漁船側に搭載するWEB会議システムは？（LINEなら容易ではないか？）

③スターリンク・Wi-Fi以外の追加実装すべき設備は？



一定の計器類からの
データ送信により、機
器類の稼働状況を確認

機器類のオンラインサポートに関する検討状況について、各メーカーに
対してヒアリングが必要

報告1.7 A-2：海洋観測データによる漁業支援システム

1. 概要

- (1) 漁場探索と予測の技術の拡張
- (2) 最適航路選択による自動航行技術の開発

2. 目的・効果

- (1) エビスくん等の漁業支援システムの拡張の方向性について、現場の声を明らかにする
- (2) 同技術の普及が期待できる
- (3) 最適航路計算ソフトに基づいた自動航行を実現する

3. 実施内容

- (1) 漁場探索と予測の技術の拡張：
…システム紹介・普及の機会／利用状況意見交換 P1.8のとおり

- (2) 最適航路選択の技術の開発：P1.10のとおり

4. 実施主体

- (1) 協議会、漁業団体、ベンダー

5. 実現に向けた課題・備忘録

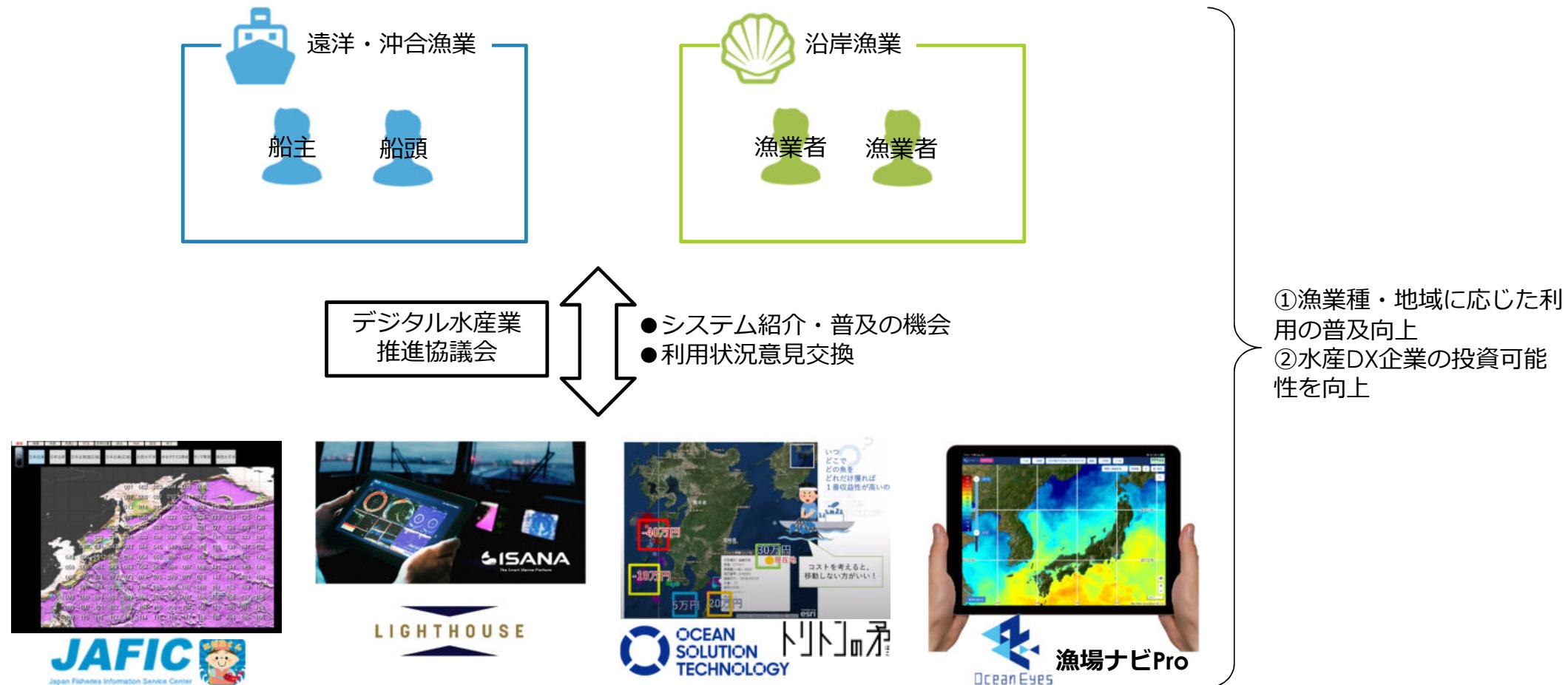
- (1) 漁場探索と予測の技術の拡張：P1.9のとおり

6. 整備スケジュール案

- (1) R6年度：システム紹介・普及の機会／利用状況意見交換
- (2) R7年度：最適航路選択の技術の開発

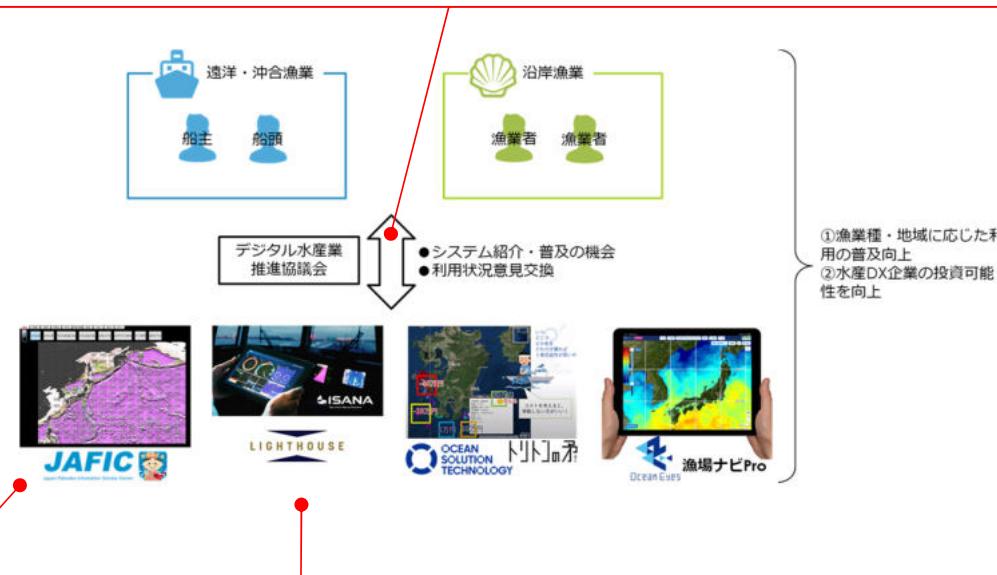
報告1.8 A-2：海洋観測データによる漁業支援システム システム紹介・普及の機会／利用状況意見交換

漁場探索と予測の技術について（R6年度）



報告1.9 A-2：海洋観測データによる漁業支援システム システム紹介・普及の機会／利用状況意見交換 課題・備忘録

- ①漁場選択と予測に関するニーズは、地域と漁業種によって異なる。
- ②ソリューションは自ずとベンダー主導で拡張する。
- ③協議会はその場作り（現場の意見聴取の機会、現場にソリューションの紹介）で良いのではないか。
- ④業界全体としてベンダー数は多くなく、網羅的に把握は可能であるものの、地元漁業者へ紹介するにふさわしいかどうか、市長・事務局で振るいにかけてから。



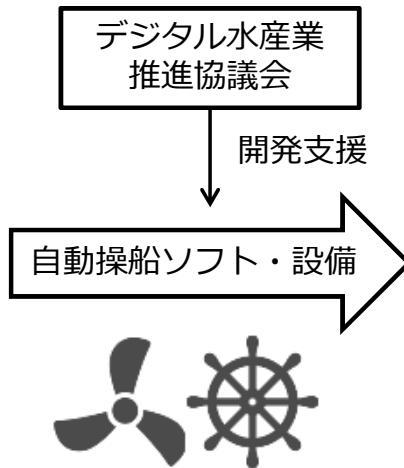
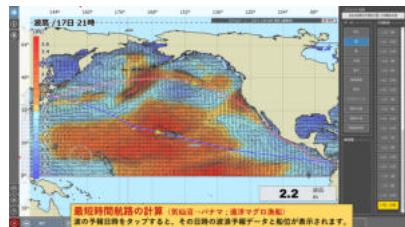
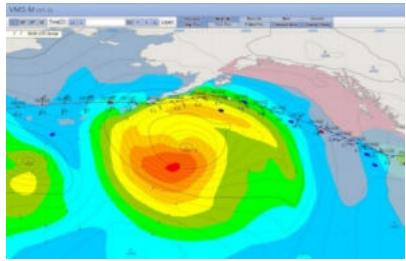
①エビスくんが沿岸部が弱く、洋心部の水温状況はほとんど変化がない。
②その情報をどのように活用しているかは船頭へヒアリングするしかない。

①第8太喜丸の井上船頭が望んでいたのは、QRYのデジタル化・オンライン化と思われる。
②ISANAはそれに近いソリューションではないか。

報告1.10 A-2：海洋観測データによる漁業支援システム 最適航路選択による自動航行技術の開発

最適航路選択による自動航行技術の開発について（R7年度～）

最適航路予測計算ソフト



報告2.1～2.5

報告2 A-1-1：遠隔診療システムの構築の取組状況

報告2.1 A-1-1 作業経過

月日	実施事項	摘要
R6/05/08	第123勝栄丸小柴船長に対するヒアリング	船上における衛生管理者の対応実態
05/23	船員災害防止協会に対するヒアリング	衛生管理者について
06/05	スターリンクデモ	スターリンクの接続テスト
06/13	作業部会①	漁船内の医療的対応力・救命力の向上に向けた洋上におけるオンライン診療の導入可能性
08/06	東京海上日動メディカルサービスに対するヒアリング	かつおまぐろメディカルダイヤルのオンライン診療可能性
08/07	東京高輪病院に対するヒアリング	無線医療助言に対するオンライン診療可能性
08/08	全国健康保険協会船員保険部に対するヒアリング	無線医療助言に対するオンライン診療可能性
09/10	作業部会②	取組方針の変更と実態把握調査
10/31	作業部会③	実態把握調査と気軽な医療相談体制の必要性
11/27	東京海上日動メディカルサービスとの意見交換①	ZOOMを活用したオンラインの相談体制の可能性
12/17	東京海上日動メディカルサービスとの意見交換②	同上
R7/01/16	作業部会④	同上
01/22	作業部会⑤（東京海上日動メディカルサービスとの意見交換③）	同上
01/28	東京海上日動メディカルサービスとの意見交換④	同上
01/28	日本かつお・まぐろ漁業協同株式会社との意見交換	同上

2025/3/2

報告2.2 A-1-1 検討の推移

取組の実現を目指し、調査・研究を進めた結果、取組の目的・効果を変更するに至った。

1. 当初：漁船内の医療的対応力・救命力の向上

=洋上における救急救命レベルの事態に対し、衛生管理者がオンライン環境下で、医師より指示（=診察等の医療行為）を仰ぐこと

↓

2. 現在：洋上の漁船乗組員に対し、医療面・福利厚生の増進に資する様々なサポートを行うこと

※サポート例：気軽な医療相談の実現に向けた体制構築

3. 検討の経過

(1) オンライン診療は、厚労省のガイドラインに要件が規定され、「かかりつけ時」「身体の安定時」のみ認められている

=救急救命レベルに対する医療行為は認められていない

(2) 捷済会病院、かつお・まぐろメディカルダイヤルは、医療行為ではなく「医療助言」の位置付け

①船員保険組合の福祉事業である「無線医療通信助言」、東京海上日動メディカルサービスからの提供サービス「かつお・まぐろメディカルダイヤル」は、ともに「医療助言」である（P2.3～2.5参照）

②医師の下へ、より現場情報が克明に届くことにより、医療助言は医療行為に近付くため、ビデオ通話を導入することは現行において不可

⇒ 検討の成果①：洋上に対して、陸上から提供できることは、医療行為ではなく医療助言まで

(3) 漁船乗組員は心身の異常に対し、重症化するまで我慢する傾向

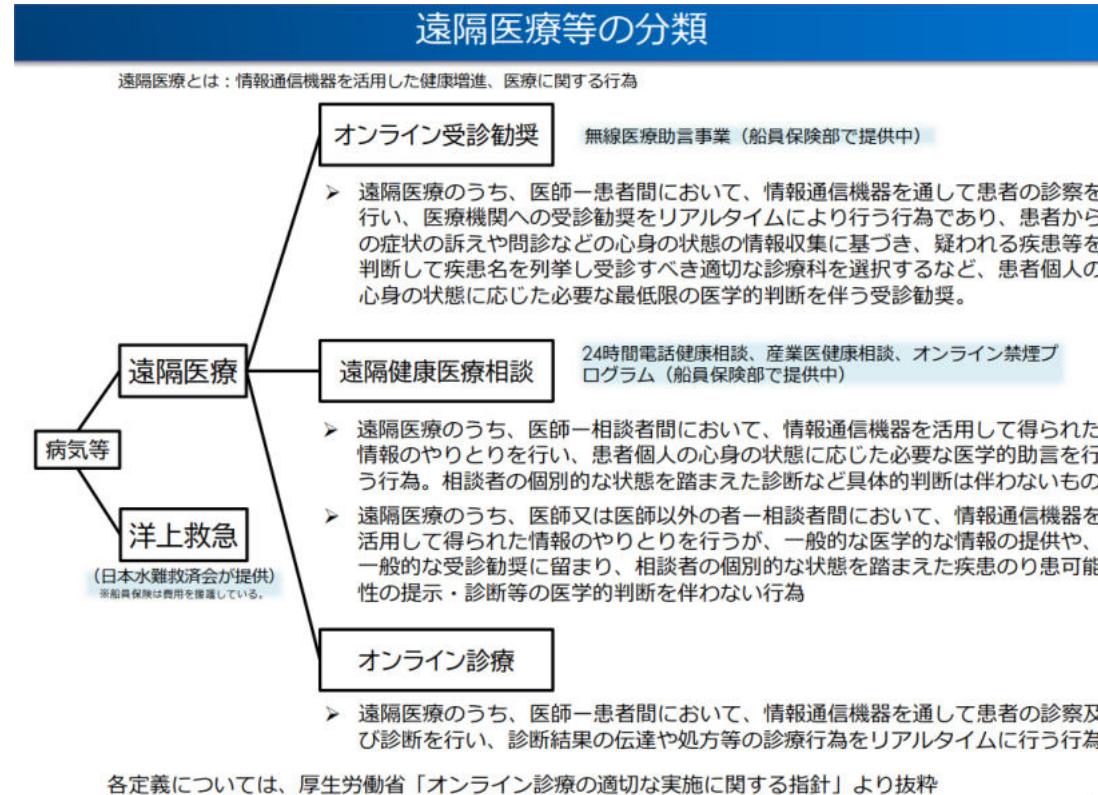
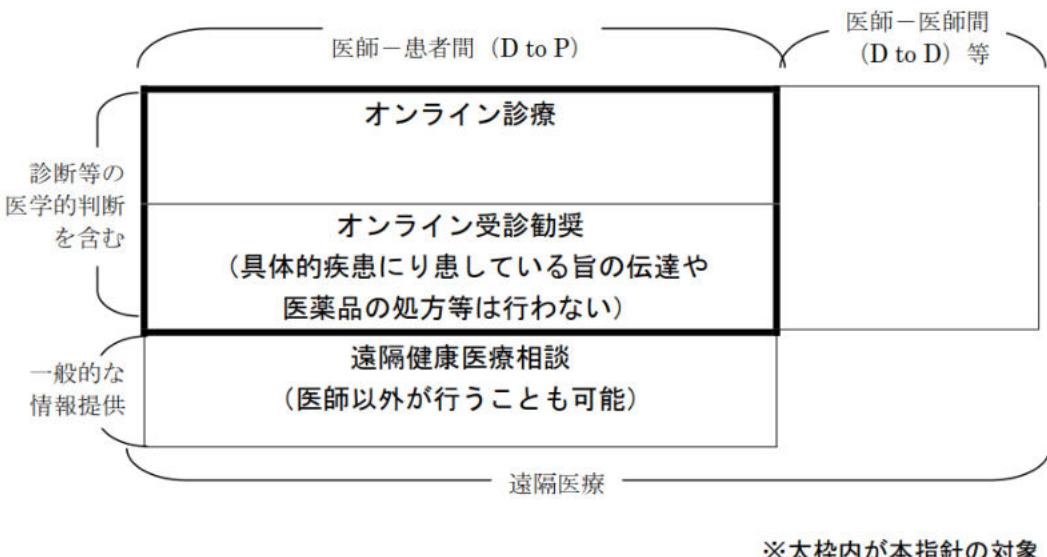
(4) 現状において「かつおまぐろメディカルダイヤル」の利用頻度が低い

(5) 厚労省ガイドラインの指針の影響を受けて

⇒ 検討の成果②：重症化する前の早期発見、初期ケアへの貢献が漁船乗組員の医療・健康増進に貢献

報告2.3 A-1-1 遠隔医療等について 1

図：遠隔医療、オンライン診療、オンライン受診勧奨、遠隔健康医療相談の関連



R5.3 : オンライン診療の適切な実施に関する指針（厚生労働省）

R3.11 : 船上における遠隔診療について（全国健康保険協会船員保険）

報告2.4 A-1-1 遠隔医療等について2

遠隔医療等の分類

【オンライン診療等で実施可能な行為】

	オンライン 診療	オンライン 受診勧奨	遠隔健康医療相談	
			医師	医師以外
指針の適用	○	○(一部適用外)	×	×
情報通信機器を通じた診療行為	○	○	×	×
情報通信手段のリアルタイム・同時性 (視覚・聴覚情報を含む)	○ (文字等のみ不可)	○ (文字等のみ不可)	-(必須ではない)	-(必須ではない)
初診	×(例外あり)	○	-	-
処方	○	×	-	-
受診不要の指示・助言	-	○	○	○
一般的な症状に対するり患可能性のある疾患名の列挙	-	-	○	○
患者個人の状態に対するり患可能性のある疾患名の列挙	○	○	×	×
一般用医薬品の使用に関する助言	○	○	○	○
患者個人の心身の状態に応じた医学的助言	○	○	○	×
特定の医療機関の紹介	○	○	○	○

※上記は、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(平成30年3月) (令和元年7月一部改訂) 別添資料より

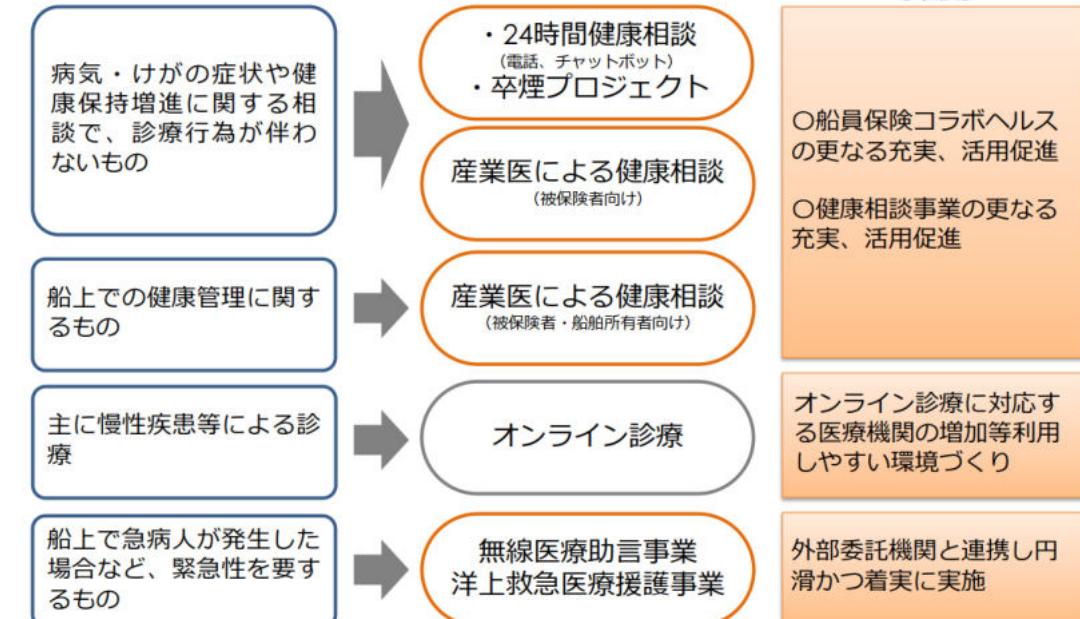
○現在、新型コロナウイルスによる院内感染防止と受診機会の確保を目的に、時限的・特例的な対応がとられている。(次頁を参照)

○併せて、規制改革の観点で新型コロナウイルスの感染収束後のオンライン診療の在り方を国で議論しており、オンライン診療の恒久化に向けたとりまとめが行われる予定となっている。

船上における遠隔医療の選択肢

- 船上の医療は、その特殊な環境下での限界もあり、ニーズに対応した方策の強化が適当
- 健康相談事業の拡充や慢性疾患等をかかりつけ医でオンライン診療できる環境整備

【今後】



○船員保険コラボヘルスの更なる充実、活用促進

○健康相談事業の更なる充実、活用促進

○オンライン診療に対応する医療機関の増加等利用しやすい環境づくり

○外部委託機関と連携し円滑かつ着実に実施

報告2.5 A-1-1 遠隔医療等について3

「かつおまぐろメディカルダイヤル」の仕組み



保健師・看護師などの医療職

- 幅広い医療知識に基づく高い専門性
- 緊急（トリアージ）医療に対する迅速な判断力
- 高度な医療コミュニケーションスキルと顧客対応力



救急科専門医

救命救急センターに勤務する現役の救急科専門医が
24時間365日常駐

緊急性を判定しアドバイス！

緊急医療相談サービス

24時間
365日

乗組員が急に意識を失って倒れた！
操業中に大波を受けて飛ばされ胸を強打した！

船内処方箋を服用しているが症状が改善せず不安。
外国人乗組員が長期間体調不良を訴えている。

経験豊富な看護師が対応！

一般健康相談サービス

24時間
365日

29

メディカルコールサービス

- ・24時間 365日対応の電話健康医療相談です。
- ・窓口は、臨床経験5年以上の看護師が中心に対応し、常駐する救急科専門医と連携しながら相談いたします。
- ・各科専門医によるご相談も可能（予約制）です。



東京海上日動メディカルサービス



1. 緊急医療相談



急なおからだのトラブルに見舞われたとき、看護師が緊急性を判断し、応急処置や受診目安について的確にアドバイスします。

2. 医療機関案内



夜間・休日や旅先・出張先で突然のケガや病気のときなどに、最適な医療機関をご案内します。

3. 一般的医療・健康相談



気になる症状がある。どこに受診した方がいいか迷っている。など、からだの悩みについて、看護師などがご相談に応じます。

4. 予約制専門医相談



治療内容に不安がある。診断された病気について詳しく知りたい。など、疑問や不安について30以上の診療科の専門医がお応えします。

※4.予約制専門医相談はオプションとなります。

R2.7：遠洋まぐろはえ縄漁業プロジェクト改革計画資料引用

※東京海上日動メディカルサービス資料引用

報告3.1

報告3 A-1-2：機関・機器修理対応システムの構築 A-2：海洋観測データによる漁業支援システム の取組状況

報告3.1 A-1-2&A-2 作業経過

月日	実施事項	摘要
R6/05/10	ライトハウスに対するヒアリング	船舶の計器類・様子を遠隔で見える「FuneKarte」、水揚・操業データを取扱う「ISANA」に対する拡張可能性
05/27	JAFICに対するヒアリング①	エビスくんの現場拡張可能性
07/03	JAFICに対するヒアリング②	7/3継続
07/31	第8太喜丸上漁労長に対するヒアリング	7/31継続
08/06	ライトハウスに対するヒアリング③	5/10継続
08/19	オーシャンソリューションテクノロジーに対するヒアリング	トリトンの矛に対する拡張可能性
08/27	ライトハウスに対するヒアリング④	8/6継続
R7/01/23	古野電気に対するヒアリング	
01/23	KDDIに対するヒアリング	
01/27	日本無線に対するヒアリング	
01/28	オーシャンアイズに対するヒアリング	漁場ナビProに対する拡張可能性
01/30	KDDIに対するヒアリング②	
02/21	JAFICに対するヒアリング⑤	7/3継続

協議1.1～1.2

協議 1 A-1-1に関する事業計画① 遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査

協議1.1 事業計画① 遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査 概要

1. 概要

遠洋漁船における医療、生活面等に対する現況・課題・改善ニーズを把握する調査を実施する。

2. 目的

当初構想した「漁船内の医療的対応力・救命力の向上」に代わり、医療面・福利厚生の増進に資するサポートを検討するため実態を把握するもの。

3. 実態調査

- (1) 主体 協議会（事務局：水産課・MURC）
- (2) 時期 R7.3月～
- (3) 対象 宮城県北部鰹鮪漁業組合所属船（27隻）
- (4) 方法 アンケート
(回答方法：文書orオンライン)
- (5) 調査票 P1.2にて詳細

4. スケジュール

- R7.3～4 調査
- 4～5 回収・分析
- 6～ 施策検討

気仙沼市デジタル水産業推進協議会
会長 営 篤 敏 夫

宮城県北部鰹鮪漁業組合所属船 各位

気仙沼市デジタル水産業推進協議会
会長 営 篤 敏 夫

遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査に関する御協力のお願い

*この度、貴社ますご遠洋のことをお運び申し上げます。
さて、気仙沼市は水産業で運営の「デジタル水産業推進協議会」として、現在、様々な水産業のデジタル化に取り組んでおります。
遠洋漁船の現場では、近年、沖合での医療問題が必ずしも緊急入港するケースが増えているなか、スマーリング等高齢漁師へのサービスの質など、今後、洋上のインターネット環境がますます改善し、医療面など様々な場面で、生活環境の向上が期待されておりまます。
つきましては、漁船乗組員の洋上環境改善を目指すために、今回の陸上サポート体制の構築に努めています。また、医療面等の実態把握を目的とした各船のアンケート調査を下記のとおり実行いたく、何卒、御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 アンケート調査について
(1) 問1～問3は漁船に関する基本的な質問で、**船会社**の方が回答してください。
(2) 問4～問9は洋上の医療に関する質問で、**乗組員**の方が回答してください。
(3) 問10～問11は洋上の生活や娛樂に関する質問で、**乗組員**の方が回答ください。
お詫びいたします。

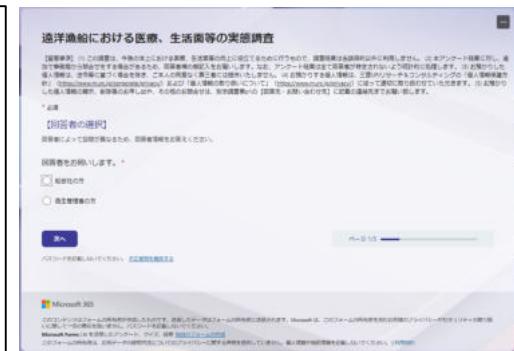
2 回答期限 令和*年**月**日 (*)

3 資料は本アンケート裏面に直接ご記入してメール/FAXで回答いただかず、**QRコード**を用いて回答ください。
(またはURLリンク)からインターネット上で回答ください。
→ <https://forms.office.com/r/LW1qJgQK>

【回答先】問1～問9
気仙沼市デジタル水産業推進協議会事務局
■気仙沼市農業部水産業漁業振興係（担当：小野寺）
〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町1-1-1
電話：0226-22-3435 FAX：0226-22-7135、メール：suisankeisennuma.miyoji.jp
■三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株）（担当：秋元、大崎）
〒539-8213 大阪市北区梅田2丁目5番25号
電話：06-6734-5470、FAX：06-7637-1479、メール：yu-osaka@murc.jp

4 留意事項
(1) この調査は、今後の洋上における医療、生活面等の内容に役立てるために行うもので、調査結果及び個人情報を他目的以外に利用しません。
(2) 本アンケート結果に対し、追加で事務局から問合せをする場合があるため、回答者欄の御記入をお願いします。なお、アンケート結果は全て回答者が決定されないよう統計的に処理します。
(3) お預かりした個人情報は、法的拘束力を持たない「個人情報保護方針」に則り取り扱います。
(4) お預かりした個人情報は、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株）「個人情報保護方針」(<http://www.murc.jp/corporate/privacy/>) および「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.murc.jp/privacy/>) に従って適切に取り扱われています。

(5) お預かりした個人情報の表示、削除等が実現せず、その他の対応は、上記まで承認致します。



協議1.2 事業計画① 調査票（別添）の設計

1. 漁船に対する基本的な質問 【回答者：船会社】

- ・問1・2：衛生管理者の役職と年齢
 - ・問3：漁船に搭載している通信手段

2. 洋上における医療に関する質問 【回答者：衛生管理者】

- ・問4・5：医療に対する判断・相談先
 - ・問6：かつおまぐろメディカルに対する相談
 - ・問7：掖済会病院に対する相談
 - ・問8：乗組員の健康管理に対する考え方
 - ・問9：乗組員の医療福祉向上に役立つと思うサポート

3. 洋上の生活や操業に関する質問 【回答者：漁労長、船長、機関長など】

- ・問10：洋上における生活や操業現場に役立つと思うサポート
 - ・問11：洋上における困りごと

協議2.1～2.7

協議2 A-1-1に関する事業計画② ZOOM TO ZOOMによる気軽な医療相談の実証事業

協議2.1 事業計画② Zoom to Zoomによる気軽な医療相談の実証事業 概要

1. 概要

遠洋漁船の乗組員が自身のスマホで気軽に医療相談できるサービスを実証する。

2. 背景・趣旨

- (1) 漁船乗組員は体調不良を重症化するまで我慢する傾向にある一方、治療は早期発見・初期ケアが重要
- (2) また、衛星電話の通話料金と気軽に利用しにくい環境を原因として、「かつおまぐろメディカルダイヤル」の利用頻度が低い
- (3) ゆえに、気軽に料金を気にしない医療相談のサービスを実証し、早期発見・初期ケアに資する医療相談の環境を構築する。

3. 実証サービス

(1) 概要

日かつメディカルダイヤルとは別に、北かつ所属船のみに対し、自身のスマホからZoom to Zoomによる医療相談サービスを実証する。

(2) 時期 R7年度

(3) 主体 協議会

(4) 委託先 東京海上日動メディカルサービス（株）

(5) 利用者 宮城県北部鰯鮪漁業組合所属船（27隻）

(6) サービス P2.2～2.7にて詳細

(7) スキーム 右図

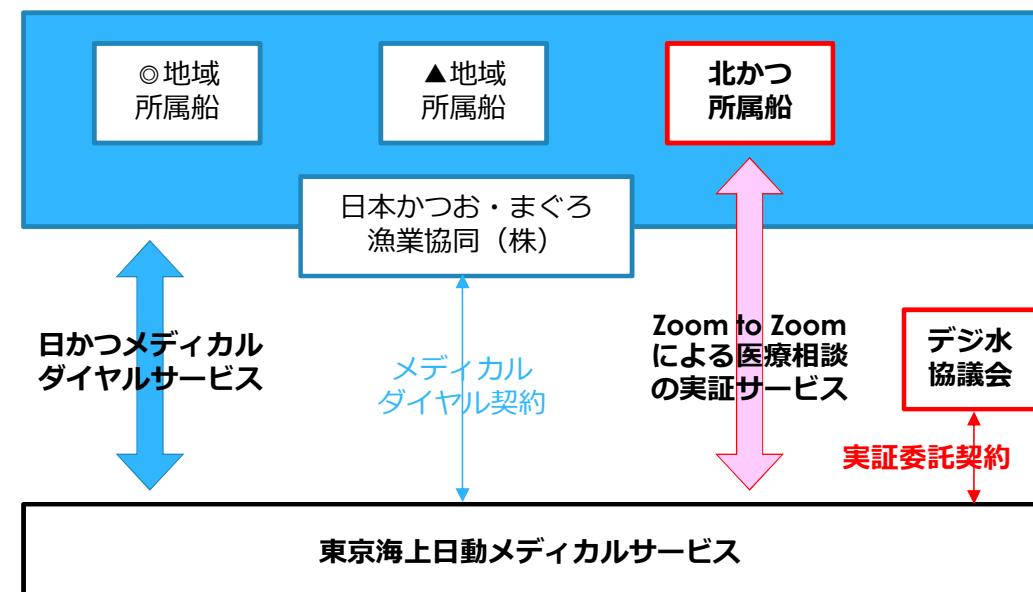
4. スケジュール

R7.3～ 実証事業の仕様協議

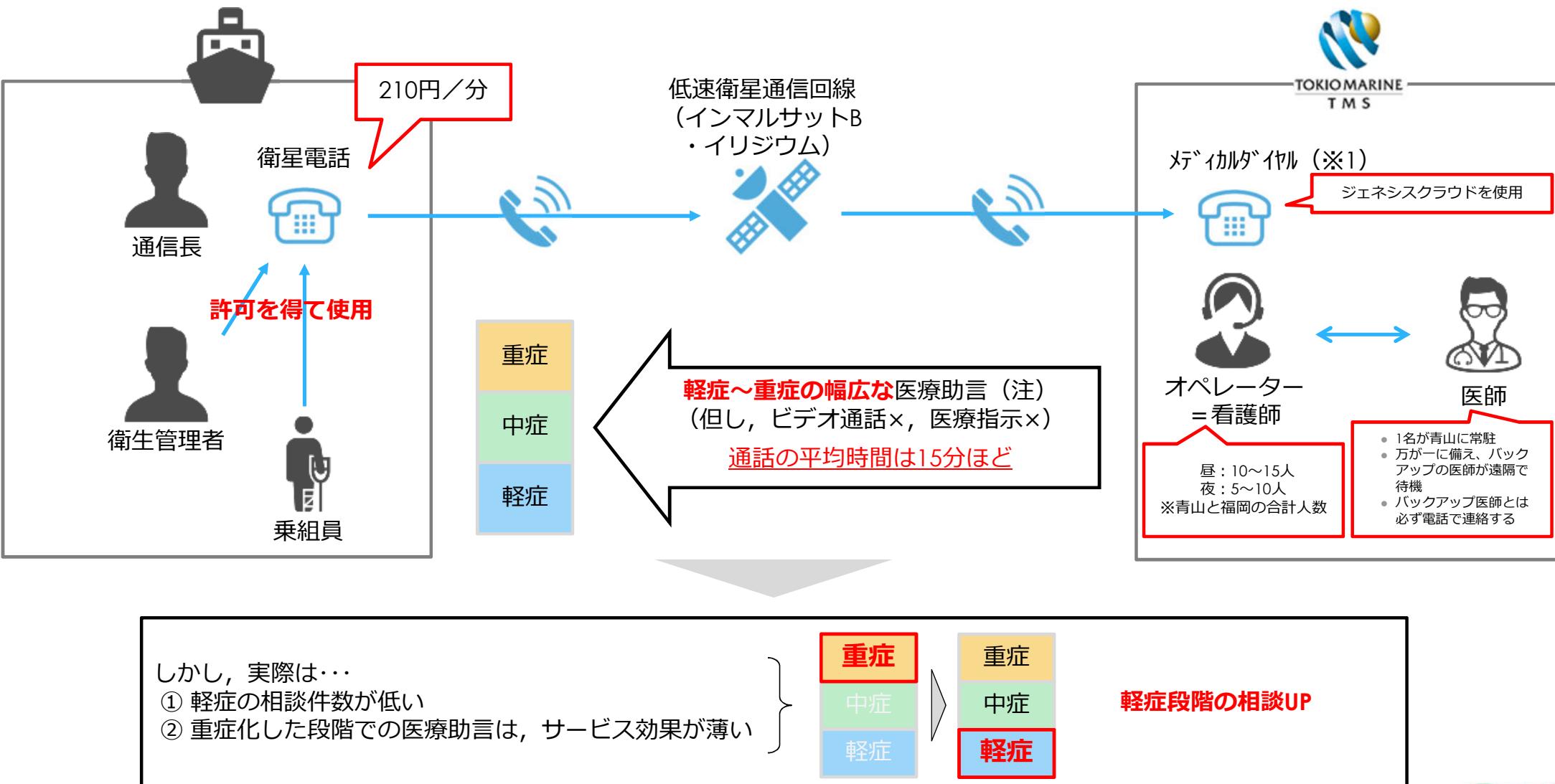
5～7 実証前事務手続き・関係者説明会

8～12 実証事業

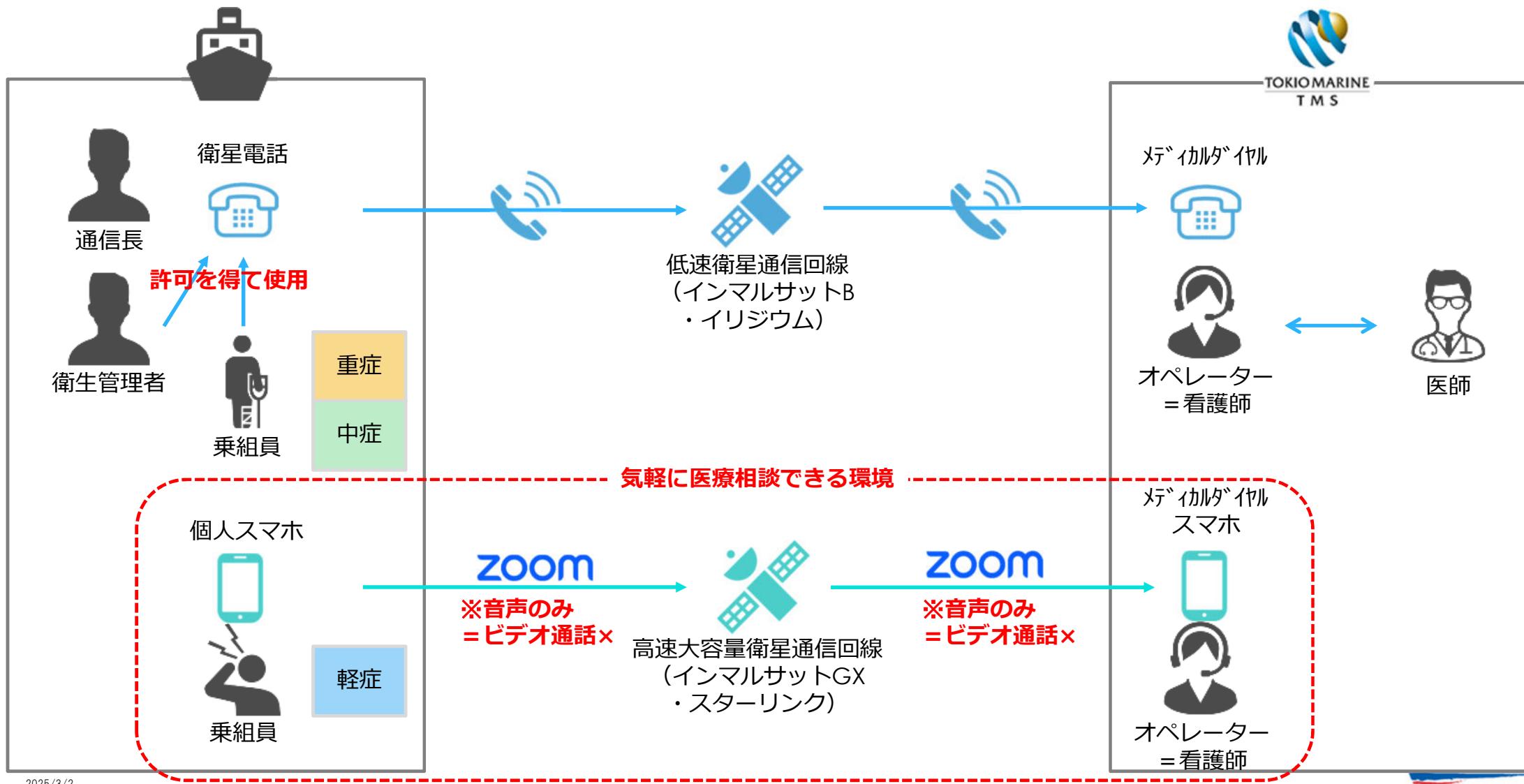
R8.1～ 効果検証



協議2.2 事業計画② かつおまぐろメディカルの現状と課題



協議2.3 事業計画② 実現モデル1：ポンチ絵



協議2.4 事業計画② 実現モデル2：相談イメージ



Q1：当日中、または夜間（日本標準時）に相談したい

Q2-A：緊急度が高い

電話相談（緊急）



深刻な症状の緊急相談

電話相談（一般）



一般的相談を随時受付

24時間対応

高

重症度

低

気軽に医療相談できる環境

Q2-B：相談日を計画的に決めるよりは、できるだけ早く相談したい

Zoom相談（緊急）



看護師

最速希望日を1つ選択(船側が都合を調整)

Zoom相談（一般）

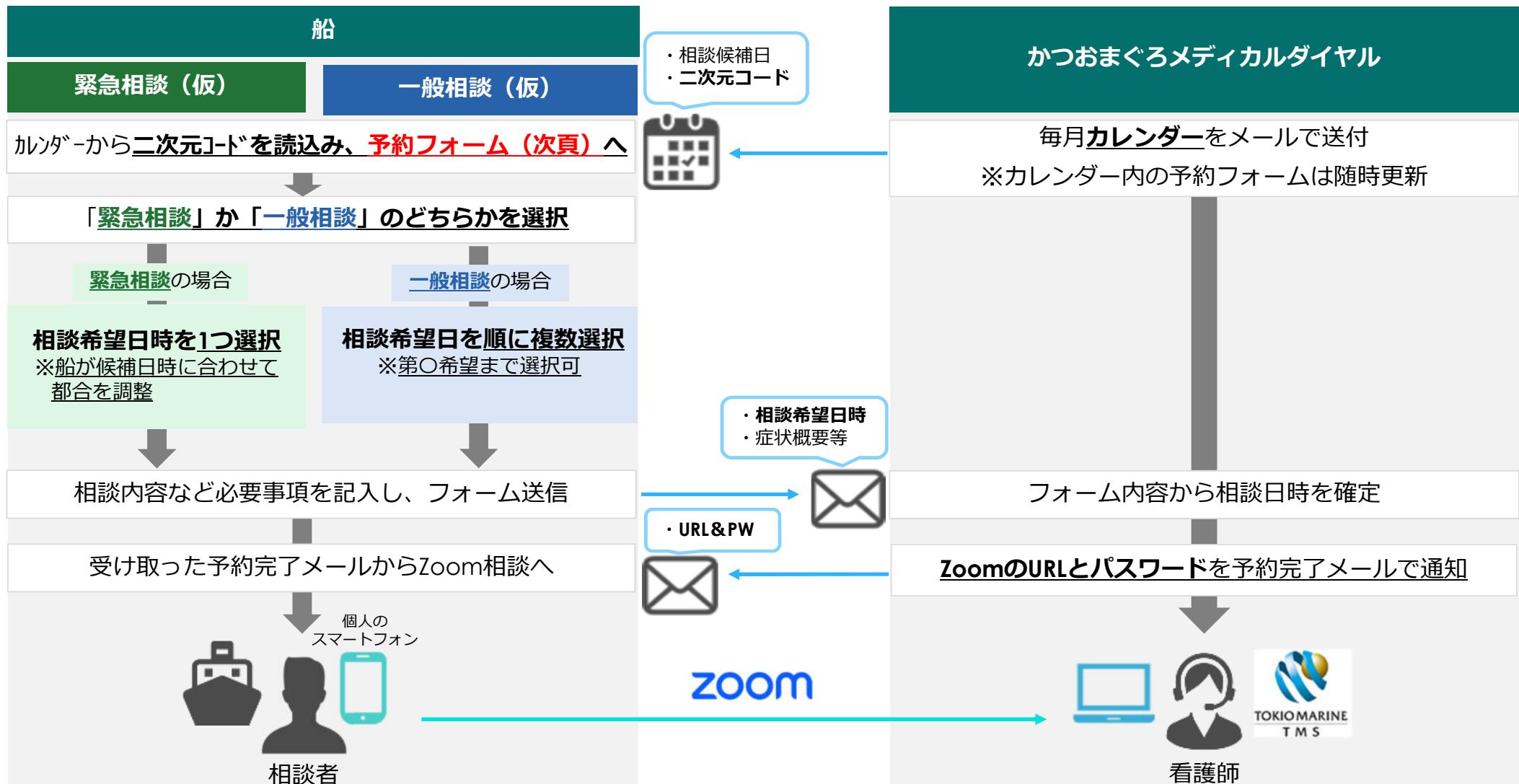


看護師

希望日を複数選択可能

日本標準時 9~19時（仮）まで

協議2.5 事業計画② 実現モデル3：相談の流れイメージ



協議2.6 事業計画② 申込フォームのイメージ (P1-2/P4)

気仙沼市zoom相談（仮称）予約フォーム

こちらは、気仙沼市zoom相談（仮称）の予約フォームです。健康に関するご相談に、看護師がお応えいたします。必要事項をご入力のうえ、送信してください。ご予約の日程および当日の詳細については、概ね・営業日以内に、以下サービス提供会社よりご連絡させていただきます。迷惑メール対策をされている方は受信できるようにご確認をお願いいたします。

<サービス提供会社>東京海上日動メディカルサービス㈱ XXXXXX@tokio-mednet.co.jp

* 必須

1. こちらは、気仙沼市zoom相談（仮称）の予約フォームです。以下について、ご了承をお願いいたします。
ご了承いただけた場合は、5つ全てにチェックをお願いいたします。 *

5個のオプションを選択してください。

こちらのサービスは、あくまでも健康についてのご相談であり、診察、診療ではありません。ご理解の上、ご利用ください。

予約できるのは、予約枠の・日前までです。また、カレンダーに記載の日時は、日本時間となりますので、ご注意ください。

ご相談は、お互いの画面をオフにした状態で実施いたします。

ご相談時間は、原則・分間となります。

ご相談の概要は、ご所属の漁業会社に共有させていただきます。予めご了承ください。

2. ご相談の緊急度をお選びください。 *

緊急相談

一般相談

送信

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

Microsoft 365

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーやセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

[Microsoft Forms | AI を活用したアンケート、クイズ、投票](#) [独自のフォームの作成](#)

[プライバシーと Cookie](#) | 利用規約

3. 【第1希望】ご相談日をお選びください。※日本時間での表記です。ご注意ください。
定員に達している場合、ご希望に添えないことがあります。予めご了承ください。

*

1月24日 10:00~10:30

1月24日 11:00~11:30

1月24日 11:30~12:00 【空き無し】

1月24日 13:00~13:30 【空き無し】

4. 【第2希望】ご相談日をお選びください。※日本時間での表記です。ご注意ください。

*

1月24日 10:00~10:30

1月24日 11:00~11:30

1月24日 11:30~12:00 【空き無し】

1月24日 13:00~13:30

5. 【第3希望】ご相談日をお選びください。※日本時間での表記です。ご注意ください。

*

1月24日 10:00~10:30 【空き無し】

1月24日 11:00~11:30

1月24日 11:30~12:00

1月24日 13:00~13:30

6. ご相談を希望される人のお名前をご入力ください。

*

回答を入力してください

※現時点におけるイメージです。

協議2.7 事業計画② 申込フォームのイメージ (P3-4/P4)

6. ご相談を希望される人のお名前をご入力ください。 *

回答を入力してください

7. 船舶が所属している都道府県をご入力ください。 (例: 宮城県) *

回答を入力してください

8. 船名をご入力ください。 (例: 第1●●丸) *

回答を入力してください

9. 該当の職位を選択してください。 *

船長
 船舶衛生管理者
 乗組員
 その他

10. 年齢をご入力ください。 *

回答を入力してください

11. 国籍をご入力ください。 *

回答を入力してください

12. 連絡用メールアドレスをご入力ください。 (ご相談当日の詳細について、こちらのメールアドレスにご連絡いたします) *

回答を入力してください

13. 当日のご相談内容を簡単にご入力ください。 *

回答を入力してください

14. ご相談の枠には限りがありますので、ご都合が悪くなりましたら必ずご相談日の●日前までに、以下宛先までご連絡ください。また、お申し込み後、●日以内（土日祝日を除く）に連絡がない場合も以下までご連絡をお願いいたします。
＜サービス提供会社＞東京海上日動メディカルサービス(株) XXXXXX@tokio-mednet.co.jp *

上記に同意して申し込む

送信

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

 Microsoft 365

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーとセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

[Microsoft Forms | AI を活用したアンケート、クイズ、投票](#) [独自のフォームの作成](#)
[プライバシーとCookie | 利用規約](#)

※現時点におけるイメージです。

協議1・2 事業スケジュール

年月	R6年度			R7年度											
	R7.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8.1	2	3
協議会				● 第1回											
分科会			● 第1回			● 第2回								● 第3回	
作業部会	●				●		●		●			●			
事業 計画 ①	調査書立案			● 北かつ説明会											
				● 調査											
				● 回収・分析											
					● 施策検討										
事業 計画 ②	事業計画立案			● 実証事業の仕様協議											
					● 契約事務手続き										
						● 関係者説明会・操作説明会									
						● 実証事業									
												● 効果検証			

気デジ水第***号
令和 * 年 ** 月

宮城県北部鰹鮪漁業組合所属船 各位

気仙沼市デジタル水産業推進協議会
会長 斎藤徹夫

遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査に関する御協力のお願い

*の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、気仙沼市は水産庁選定の「デジタル水産業戦略拠点」として、現在、様々な水産業のデジタル化に取組んでおります。

遠洋漁業の現場では、近年、沖合で医療処置が必要となり緊急入港するケースが増えているなか、スター・リンク等高速通信サービスの登場などで、今後、洋上のインターネット環境がますます改善し、医療面など様々な場面で、生活環境の向上が期待されております。

つきましては、漁船乗組員の洋上環境改善を目指し、今後の陸上サポート体制の構築に繋げていくため、医療、生活面等の実態把握を目的とした各船宛のアンケート調査を下記のとおり行いたく、何卒、御理解と御協力のほどよろしくお願ひいたします。

記

1 アンケート調査について

- (1) 問1～問3は漁船に関する基本的な質問で、**船会社**の方が回答してください。
- (2) 問4～問9は洋上の医療に関する質問で、**衛生管理者**の方が回答してください。
- (3) 問10～問11は洋上の生活や操業に関する質問で、**漁労長、船長、機関長など、皆さんで相談して回答してください。**

2 回答期限 令和**年**月**日（*）

3 調査は本アンケート票に直接ご記入してメール／FAXで回答いただくか、↓の二次元コード（またはURLリンク）からインターネット上で回答ください。

→ <https://forms.office.com/r/cLVWiXpBXC>



【回答先・問合せ先】

気仙沼市デジタル水産業推進協議会事務局

■気仙沼市産業部水産課漁業振興係（担当：小野寺）

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話：0226-22-3435、FAX：0226-22-7135、メール：suisan@kesennuma.miyagi.jp

■三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)（担当：秋元、大崎）

〒530-8213 大阪市北区梅田2丁目5番25号

電話：06-6734-5470、FAX：06-7637-1479、メール：yu-osaki@murc.jp

4 留意事項

- (1) この調査は、今後の洋上における医療、生活面等の向上に役立てるために行うもので、調査結果及び個人情報は当該目的以外に利用しません。
- (2) 本アンケート結果に対し、追加で事務局から問合せをする場合があるため、回答者欄の御記入をお願いします。なお、アンケート結果は全て回答者が特定されないよう統計的に処理します。
- (3) お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
- (4) お預かりする個人情報は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>) および「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.murc.jp/privacy/>) に従って適切に取り扱わせていただきます。
- (5) お預かりした個人情報の開示、削除等のお申し出や、その他のお問合せは、上記までお願い致します。

遠洋漁船における医療、生活面等の実態調査

【漁船に関する基本的な質問】

問1～問3は、船会社の方に回答をお願いします。

問1：衛生管理者はどなたが担当されていますか。該当する役職を「○」で囲んでください。

- 1 漁撈長 2 船長 3 機関長 4 通信長 5 航海士 6 機関士 7 甲板長

問2：衛生管理者の年齢を教えてください。

歳

問3：漁船に搭載している通信手段の全てに「○」を付けてください。

- 1 インマルサット FX 2 インマルサット FB 3 V-SAT 4 イリジウム
5 スターリンク 6 その他 ()

【洋上における医療に関する質問】

問4～問9は、衛生管理者の方に回答をお願いします。

問4：医療の処置が必要な時、ご自身で判断することが多いですか。または誰かに相談することが多いですか。

- 1 自分一人で判断することが多い 2 どちらともいえない 3 誰かに相談することが多い

問5：医療の処置について、相談しやすい順に、順位を付けてください(相談しない選択肢は空欄で構いません)。

- 1 インターネットで症状を検索 () 位 2 乗組員に相談 () 位
3 船会社に相談 () 位 4 かつおまぐろメディカルダイヤルに相談 () 位
5 救済会病院に相談 () 位 6 その他 () () 位

問6：これまでに「かつおまぐろメディカル」に相談したことがありますか。

- 1 相談したことがあるし、今後も相談したいと思っている 2 相談したことがあるが、今後は相談しないと思う 3 相談したことがない

【問6で「1 相談したことがあるし、今後も相談したいと思っている」と答えた方】

問6-1 衛生管理者、体調不良の乗組員のどなたが相談していますか。

- 1 衛生管理者 2 体調不良の乗組員本人 3 衛生管理者、乗組員のどちらも

問6-2 どのような場合に相談しますか。最も近いと思う選択肢を「○」で囲んでください。

- 1 初期症状を確認したとき 2 何日も症状が続く時 3 症状が重篤化した時

問6-3 どのような症状で相談することが多いですか。該当するもの全てに「○」で囲んでください。

- 1 外傷・外科的な症状(縫合を必要とする傷など) 2 内科的な症状(発熱、嘔吐、頭痛・腹痛など)
3 皮膚科的な症状(肌のかゆみなど) 4 眼科的な症状(視界のゆがみなど)
5 整形外科的な症状(腰の痛み、骨折など) 6 原因が分からない症状(意識不明、けいれんなど)
7 その他 ()

→【問6で「2 相談したことがあるが、今後は相談しないと思う」「3 相談したことがない」と答えた方】

問6-4 その理由に最も近いと思う選択肢、全てに「○」で囲んでください。

- 1 具体的な処置の指示をもらえないから（助言しかもらえないから）
- 2 以前良い助言をもらえなかった経験があるから
- 3 電話では上手く伝わらないから（電話では説明が難しいから）
- 4 このサービスを知らなかったから
- 5 その他（ ）

問7：これまでに「掖済会病院」に相談したことがありますか。

- 1 相談したことがあるし、今後も
相談したいと思っている 2 相談したことがあるが、今後は
相談しないと思う

【問7で「1 相談したことがあるし、今後も相談したいと思っている」と答えた方】

問7-1 衛生管理者、体調不良の乗組員のどなたが相談していますか。

- 1 衛生管理者
- 2 体調不良の乗組員本人
- 3 衛生管理者、乗組員のどちらも

問7-2 どのような場合に相談しますか。最も近いと思う選択肢を「○」で囲んでください。

- 1 初期症状を確認したとき
- 2 何日も症状が続く時
- 3 症状が重篤化した時

問7-3 どのような症状で相談することが多いですか。該当するもの全てに「○」で囲んでください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 外傷・外科的な症状（縫合を必要とする傷など） | 2 内科的な症状（発熱、嘔吐、頭痛・腹痛など） |
| 3 皮膚科的な症状（肌のかゆみなど） | 4 眼科的な症状（視界のゆがみなど） |
| 5 整形外科的な症状（腰の痛み、骨折など） | 6 原因が分からぬ症状（意識不明、けいれんなど） |
| 7 その他（ ） | |

→【問7で「2 相談したことがあるが、今後は相談しないと思う」「3 相談したことがない」と答えた方】

問7-4 その理由に最も近いと思う選択肢、全てに「○」で囲んでください。

- 1 具体的な処置の指示をもらえないから（助言しかもらえないから）
- 2 以前良い助言をもらえなかった経験があるから
- 3 電話では上手く伝わらないから（電話では説明が難しいから）
- 4 このサービスを知らなかったから
- 5 その他（ ）

問8：衛生管理者として、乗組員の健康管理の支援に特に重要と考えることについて、該当するもの全てに「○」で囲んでください。

- 1 健康相談 2 乗組員の服薬管理 3 船内の薬品管理
4 医学的処置 5 その他（ ）

問9：乗組員の医療福祉向上のために、インターネット等を活用して、陸上からどのようなサポートが役立つと思しますか。該当するもの全てに「○」で囲んでください。

- 1 体調不良の乗組員本人が、気軽に医療相談できるサポート窓口があること
- 2 衛生管理者など本人以外が、気軽に医療相談できるサポート窓口があること
- 3 慢性疾患を抱えている乗組員本人が、かかりつけ医とオンライン診療を受けること
- 4 医療が必要な時に、医者・看護師などにオンラインで処置を見守ってもらうこと
- 5 医療が必要な時に、医者からオンラインで具体的な指示をもらうこと
- 6 その他（自由に記入ください）

【その他の質問】　問10～問11は、漁労長、船長、機関長など、皆さんで相談して回答してください。

問10：洋上における生活や操業の現場に対して、インターネット等を活用して、陸上からどのようなサポートが役立つと思しますか。該当するもの全てに「○」で囲んでください。

- 1 オンラインによる機関部の機器の取扱いに関する支援
- 2 // 航路の最適化に関する支援
- 3 // 漁場予測に関する支援
- 4 // 海技士講習等の受講
- 5 // 外国語の通訳に関する支援
- 6 インターネットによる洋上投票の実現
- 7 その他（下欄に自由に記入ください）

問11：洋上における困っていること等について、その他自由に記述ください。

回答欄（自由にご記入ください）

【回答者】

回答日	所属会社	漁船名	役職	氏名
連絡先（メール）				

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。